



大久保 帝二 議員

道の駅ごかの利用状況は 当初の計画以上の利用状況です

問 オープン5年目を迎えた道の駅ごかの現況は、町長 平成17年4月オープン以来、利用者また販売額等も順調に推移しているところですか。また、農産物の出荷高も、生産者の努力もありまして、年々増加しております。地区内の農産物の割合も2年連続して50%を超えてきております。平成20年度53・2%となっております。

産業課長 道の駅の利用者数の計画では、68万2,550人ということでしたが、平成17年度の利用者数は、57万9,012人でした。以降利用者数は年々増加し、平成20年度では、83万1,201人の方に利用していただきました。また、利用率の方は121・8%になっております。次に売上高につきましては、平成17年度が5億4,37万6千円、平成20年度が9億2,86万9千円と順調に伸びています。平成19年度に對しての対前年度比としては、111・1%の伸び率になっています。

問 地元農畜産物の調達率は、産業課長 地元調達率につきましては、平成17年度が39・7%です。平成19年度からは、50%を超えており、平成20年度につきましては、53・2%です。現在のところ、道の駅ごかの現況につきましては、計画以上の活性化が図られていると思います。

問 利用客の増加に伴う夏期の冷房対策や混雑時の対応策は、産業課長 昨年から屋根へのスプリンクラーによる対処に加え、本年度は冷房機器のリースの導入を計画しています。次に混雑時の対応といたしまして、レジ1台を増設し、4台で対応している状況です。また、駐車場等不足する状況につきましては、今後、道の駅が古河市に設置予定されていることや、国道4号バイパスの4車線化、圏央道IC周辺開発等の経過も見据えながらの対応が必要

であると思います。

問 起債の償還は、産業課長 本年度の返済分としまして、2,789万8千円になります。

問 少子化に対する町の取り組みは、町長 少子化対策は仕事と子育ての両立負担感を緩和し、安心して子どもを育てられるような環境を整備し、子育てに夢や希望を持つことが出来る社会にしようというものです。少子化対策基本法では、国、地方公共団体は、保育サービス等を充実、子育て支援体制の整備、また母子医療体制の充実等、町が取り組むべき基本的施策及び具体的な施策として掲げて取り組んでいるところです。

平成22年度からの町の次世代育成支援行動計画におきましても、乳幼児のいる家庭から高校生まで幅広くアンケート調査を実施し、現在行っている

問 少子化に対する町の方策は、町長 少子化対策は仕事と子育ての両立負担感を緩和し、安心して子どもを育てられるような環境を整備し、子育てに夢や希望を持つことが出来る社会にしようというものです。少子化対策基本法では、国、地方公共団体は、保育サービス等を充実、子育て支援体制の整備、また母子医療体制の充実等、町が取り組むべき基本的施策及び具体的な施策として掲げて取り組んでいるところです。

平成22年度からの町の次世代育成支援行動計画におきましても、乳幼児のいる家庭から高校生まで幅広くアンケート調査を実施し、現在行っている

問 少子化対策事業について率直な意見を聴取して計画に盛り込んでいく考えです。

問 少子化対策事業について健康福祉課長 所管の子育て支援事業等を、19年度実績として、保育所運営事業が9,765千円、放課後児童対策事業が4,036千円、そのほか6支援事業の合計が2,872万5千円、総額1億3,044万6千円です。子育て支援センターにつきましては、五霞と川妻両保育園で行っております。なお、平成20年度より元栗橋保育園では、一時保育事業を実施しました。その他、妊婦健診や乳児健診の母子推進事業、平成21年度新規事業として、3人目以上3歳児未満の保育料の一部を助成する3人っ子家庭応援事業の予算額30万円を計上しました。

問 就学祝金の給付状況は、町民税務課長 次世代を担う子の出産の奨励と、健やかな成長を祝福するため、五霞町就学祝金基金条例を設置し、給付を行っております。給付資格は、平成11年4月1日以降に出生の第3子目以上の子供1人当たり10万円を就学前年に基金の運用益とあわせて給付するものです。また、積み立ての状況は、平成20年度が10人、また、給付につきましては、平成20年度には、12人給付されています。